

INTERVIEW No.37

さん ゆう てい きゅう と 三遊亭究斗さん

香川県高松市出身 所沢市在住
劇団四季出身のミュージカル俳優から落語家に転身した異色の経歴を持ち、その経験から世界でオンリーワンの“ミュージカル落語”を発案。2010年からは「教育が一番」を掲げ、教育講演活動を開始し、小中高校・PTA・地方自治体等、全国各地で約400の講演を行っている。自身のいじめられた経験を基に「いじめ撲滅」をテーマにした作品も創作しており、日本一、子どもたち（小中高校）に講演している。



■ミュージカル落語を始めたきっかけは

故郷の香川県のアマチュア劇団にいましたが、「劇団四季に行きなさい」という占い師の言葉を信じてオーディションに応募しました。一度目は一次で落ちましたが、諦めず1年間レッスンを続け、二度目で合格しました。

30歳を過ぎた時に「別の世界を見てみたい」と強く想い、占い師に落語家への転身を相談したところ「すぐになりなさい」と背中を押され、当時は異例の34歳で落語家になりました。40歳の時に「自分しかないものをつくりたい」と想い、劇団四季時代の役作りの方法論、歌と音楽を落語に取り入れた『ミュージカル落語』を創造しました。

■どんな講演をしていますか

最初は古今東西の名作・偉人伝を分かりやすく、「面白く伝える」「エンターテインメント」が中心でしたが、いじめがテーマの『一口弁当』という作品を創ったところ、反響を呼び、全国の学校から講演の依頼をいただきました。私自身もいじめられた経験があり、子どもたちを笑顔にしたいという想いから「教育が一番!」を掲げ、教育と娯楽を融合した『エデュテインメント』の作品を創っています。

■講演から伝えたいことは

「自分でためないで、誰かに相談しなさい。誰かに相談すれば、必ず助けてくれる人が周りに絶対いるから、まず相談しなさい。物事は考え方ひとつ、ピンチとチャンスというのは紙一重だから、つらくても悲しくても、口角を上げて、笑っていけば、いつかチャンスが来る」と話していますね。

そして、「嘘をつくこともあるけれど、他人を欺いたりすると、大概の人は心にちよっと傷ができます。最初は痛くも痒くもないけれど、どんどん嘘をつき続け、人を騙していくと、これがどんどん大きい深い傷になる。

だから、大切なのは真摯さだよ。正直に誠実に生きていくことが、あなたの人生をより輝けるものにするよ」という話をします。

■これからの目標は

子どもたちから「勇気が湧いてきました」「あなたの魔法でみんなを笑顔にしてください」という声をもらい、一人でも多くの子どもたちに、いじめ撲滅の作品を届けたいと思います。今までは依頼を受けて講演に行っていました。自分たちから出かけて行って、子どもたちの心を元気にするNPO法人『子どもたちをいじめから守る文化芸術協会』をつくらうと思っています。

議員たちの…

冬

令和6年を象徴する一文字が「金」に決定!!
令和7年は何の

一文字になるんでしょうか? 光り輝く年になりますように、しっかりと議論していきます。

(中)

ここ数日、冬らしい寒い日が続いています。庭の落ち葉掃きをしなければと思いつつ外に出るのが辛い。年のせいでもあるのかな。
(青木)

子どもの頃、年の瀬は豊の天日干しや障子の張り替えをしましたが、今はカーテンやカーペットを晴れ間に洗濯して正月の準備をします。
(大館)

広聴広報委員会

◎秋田 孝 花岡 健太

○大久保竜一 長谷川礼奈

石本 亮三 亀山 恭子

斉藤かおり 中 毅志

神戸 鉄郎 青木 利幸

中井めぐみ 大館 隆行

◎:委員長 ○:副委員長

所沢市議会

検索



次の定例会は2月18日(火曜)から開催予定です。

ところざわ市議会だよりは2月、5月、8月、11月の15日に発行。戸別配布でお届けしています。配布のお問い合わせは、所沢市シルバー人材センター ☎2928-8695 FAX2924-0630 まで。